

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校令和2年(2020)3月2日

## 3月号

URL : [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)



## 立ち向かう

校長 冨田 操

子どもたちにとって、一年のしめくくりとなる月。そして、6年生にとっては小学校生活のしめくくりとなる月。それが3月です。

皆様にもお伝えしたように、横浜市では3月3日から3月13日まで、学校を臨時休業とすることを決定いたしました。

この3月という月はただの一月ではありません。子どもたちにとって大きな大きな意味を持つ一月です。もちろん、教職員にとっても、保護者の皆様や地域の皆様にとっても特別の意味を持つ一月です。

その中で、決定された休業がもつ大きな意味は、学校にかかわる全ての皆様がわかっていることだと思います。

特に、学校最大の行事である卒業式が、現在予定されているだけでも、本来の形ではなく、教職員と卒業生のみで行うという形になることは、子どもたちの気持ちを考えると「断腸の思い」という言葉では軽すぎると感じてしまうほどです。

また、この6年間大切に大切に育てられてきた保護者の方々、そして温かく子どもたちを見守っていただいた地域の方々のお気持ちを考えるとやり切れない思いでいっぱいになります。

そして、千秀の子どもたちと共に過ごしてきた一年間が、こうした形で終わってしまう、中でも6年間それこそ「手塩にかけて」育ててきた卒業生への千秀小全教職員の、中でも6年の担任たちの落胆する気持ちも校長として考えずにはられません。

しかし、この困難な状況を悲しんでいるだけでは子どもたちが浮かばれません。こうした困難に大人がどう立ち向かうのか、私たちがどれだけの愛情を子どもたちにもっているのかを子どもたちに示す時でもあると思います。

この先の推移は全く予想できませんが、まずは、13日までの本来学校に通うべき9日間を少しでも子どもたちにとって意味ある時間にできるよう、学校・保護者・地域で手をとりあって向かい合いたい、そう思います。

千秀小学校の大きな「強み」は、学校と保護者・地域との深いつながり、そして保護者・地域の方の温かく力強い支援だと日頃より感じているところですが、ぜひ、この事態を共に乗り切るために様々なご理解とご協力を、ここであらためてお願いいたします。

学校も、やみくもに「早い対応」を目指すのではなく、確実に正確な情報をしっかりと取った上での「着実な対応」を目指します。

これから、保護者の方への情報提供はメール・学校ホームページ・電話が中心となります。学校からも4日・11日に予定している定期的なメール配信以外にも進捗状況に応じて、すぐにご連絡することをお約束しますので、学校から連絡のない事項については、ご質問をお受けしても回答できないことがほとんどであることもご理解ください。

この状況に学校も立ち向かってまいります。どうぞ、保護者・地域の皆様も今まで

同様にお力をお貸してください。よろしくお願ひいたします。